

直接就労型（釧路市）

○基礎情報【経営形態：人工光・水耕栽培型植物工場での葉菜類、ハーブ類の生産、販売】

【職員数：6名、うち障がい者3名（知的障がい者など）】

<問い合わせ先>株式会社 Ozaki 植物工場
☎ 0154-65-8812

1 農福連携に取り組んだ経緯

代表取締役の親族が知的障がいをもっており、特別養護学校卒業後に自立できるだけの収入を得られる就職先が地元になく状況を痛めていた。そんな中、農業は障がい者にとって単なる就労場所としてだけでなく、自らの生きがいに繋がる産業であるという「農福連携」の考え方を知り、自らが農福連携を実践するため、2018年（平成30年）に株式会社 Ozaki（おざき）を設立。人工光・水耕栽培型植物工場を建設し、農業に新規参入することとした。設立当初は、就労する障がい者は1名だったが、特別養護学校から一般就労を実現したいと依頼され、2022年（令和4年）には、3名が就労するようになった。

2 取組内容

- (1) 就労形態：人工光・水耕栽培型植物工場での葉菜類、ハーブ類の生産業務全般
※勤務形態・給与等は、一般従業員と同じ
- (2) 就労期間：通年（シフト制）
- (3) 就労時間：9:00～15:00（昼休憩1時間）
※農産物の収穫量により稼働時間の変動有
- (4) 送迎：無し（徒歩・自転車・バス等で通勤）
- (5) 従業員の作業内容
 - ①工場内の農産物のは種・収穫作業
 - ②収穫した農産物の梱包・出荷準備作業

3 取組の特徴

- (1) 人工光・水耕栽培型植物工場のため、天候に左右されることなく、冬期間を含む年間を通じて栽培、収穫作業ができる。通年で雇用ができるため、障がい者だけでなく、誰もが働きやすい環境を整えている。
- (2) 障がい者一人ひとりの個性に合わせた声かけを行い、従業員全体の作業効率の平準化を行っている。
- (3) 作業の見える化に取り組んでおり、収穫した農産物が分かるように段ボールに色のついた札をつけることや、重量の計測の際に規格が一目でわかる一覧表を作成して手元に置くなど、障がい者にも理解しやすく、従業員も指導の際に一目で把握できる工夫をしている。



4 障がい者就労への考え方

障がい者も健常者の一般従業員も同様の給与形態を取っているが、それは障がい者が有る無しにかかわらず、平等に社会のルールに沿った行動を求めることでもあり、障がいを抱える従業員に説明し、理解してもらっている。「障がいがあるからできない」ではなく、「障がいがあっても、できるように工夫して頑張ってもらおう」ことが、働く上で大事だと考えている。

5 今後の予定や将来展望

自分たちで生産した農産物を加工・販売する施設や、生産工場を増設することで障がい者の雇用を創出できるようにしたい。